

# 板倉町 1人1台端末の利活用に係る計画

---

## 1 1人1台端末をはじめとするICT環境によって実現を目指す学びの姿

1人1台端末及び高速ネットワークや電子黒板などのICT機器を活用することで、個別最適な学びと協働的な学びの一体的な充実を図ることにより、児童生徒は自らの興味や関心に基づき、主体的に学習を深め、多様な価値観を尊重しながら協働する力を養うことが期待されます。

また、教職員のICT活用や指導力の向上、さらに教育に関する資質向上を図ることにより、変化の激しい社会に対応できる資質・能力を持つ人材の育成を行って参ります。

## 2 GIGA第1期の総括

文部科学省によるGIGAスクール構想に基づき、板倉町では、令和3年度までに町立小中学校3校の児童生徒に対し、計1,098台の1人1台端末の整備を完了するとともに、高速通信ネットワークや無線LAN環境の整備、電子黒板などの設置を行い、ICTを基盤とした新たな学びの確立を進めてきました。

また、学校間、教員間でのICTの活用状況に差が生じないように、「板倉町教育研究所」において、ICT活用の実態と課題の洗い出しや職員の実態に合ったICT研修を実施しました。この取り組みによりICTの活用が進み、学びの基盤としてのICTの位置づけが図られました。

## 3 1人1台端末の利活用方策

ダッシュボードなどを活用し、日々蓄積される各種教育データを教職員が利活用することで、児童生徒の興味・関心や習熟度に応じた個別最適な学びや、デジタルツールによる共同制作やリアルタイムでの意見共有を通じた協働的な学びを推進することで、1人1台端末を活用したより深い学びを実践していきます。

また、端末の家庭への持ち帰りを今後も推進し、AI型学習教材などを活用し、効果的な家庭学習の支援強化を図ります。

ICT活用は学びの質や学びの転換（学び方や教職員の指導・支援）に大きな影響を与えます。端末を使うこと自体が目的化しないよう、学びを深めるための手段として位置づけ、ICTを使う目的を常に明確にし、授業の中でその利点を生かせるように、ICT活用の意義とその効果を十分に理解しておくことが肝要です。